



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
魚谷さとる
(0848-22-2810)
岡野長寿
(0845-22-2596)

共産党市議団 魚谷、岡野両市議が質問

-20日から「2月議会」スタート 補正予算など-

20日午後、本会議開かれて一般会計補正予算などが提案され、「2月議会」がスタートしました。本会議では岡野長寿市議が質問しました。翌21日午前には議長を除く全議員で構成する予算特別委員会が開催され、議案の審査が行われましたが、その一部を紹介します。

一般会計補正予算 魚谷さんと市議は、一般会計補正予算について質問しました。

この時期の補正予算は、年度末を目前にして新たな収入と支出、予算執行をした残りの予算、事業費の確定見込みによる国や県への返還金などの調整が行われます。補正予算は歳入歳出ともに9億円余り減額され、予算総額は約676億円になっています。

質疑を通じて、新たな収入としては法人市民税1億8千万円あったこと。災害関連で国からの補助金が2億6千万円あったものの、予算執行をした残りや返還金などの調整が多くあった

ため、予算全体では減額となったものです。歳入で財政調整基金が約11億4千万円減額されていますが、これは取り崩す予定のものを減らすことですから、実質的に財政調整基金はその分残額は多くなりません。

魚谷市議は、財政調整基金の現在高、年度内の取り崩しと積み立て額を質問しました。財政課長は、現在の基金残高は3億8千万円、取り崩し額1億4千万円、積み立ては1億3千万円であると答えました。取り崩し額が多くなったのは、昨年7月の豪雨による災害復旧によるものだと答えた。

魚谷市議は、基金を減額した原資について、法人市民税1億8千万円、災害関連で国からの補助金2億6千万円と予算執行をした残りであると考えられる。その内、予算執行をした残りは単に財政調整基金の減額に充てられているのではなく、知恵を出し市民生活に役立つ施策を考えるべきではないかと注文を付けました。

「財政調整基金」とはその名の通り、財政の調整のために使われる基金で、使途が限られる他の基金と違い、何にでも使うことができる基金です。

○今年度初めの残額	51.9億円
○年度内に取り崩した額	14.3億円
○年度内に積み立てた額	1.3億円
<hr/>	
○現在の基金残高	38.9億円

民営化推進で 保育責任が果たせるのか？

2月議会が始まり、2月20日の本会議で岡野長寿市議は、尾道中央認定子ども園整備事業計画が、約3億1千万円から4億2千万円と拡大している理由を質した。保育園の公立と私立の割合をこれまで50対50としてきたが、現在は崩れて来ており、これ以上民営化を進めれば、安定した質の高い保育を提供することや子どもたちの安全を守るといった点で問題が起るのではないかと危惧を表明しました。

統廃合で子ども遊び場がなくなった？

これに対し、担当課長は、「事業計画の額が大きくなったのは、国の建物建設単価の変更によるもので、建物の設計には変更はない」としながら、「これにより要望があった場合、計画していなかった付属設備をつくることの可能性は広がる。また公立と私立の割合は30対70くらいになる。」と答弁。

岡野市議は「園児の骨折などの事故は公立と私立でどうなっているか」質し、公立の場合は市が直接把握することになっているが、私立では県に報告義務はあるものの、市が直接把握することになっていない点を問題視し、「保育責任は市にあり、直接把握すべき」ことを求め、担当課長も「そのようにする」意向を示しました。

岡野長寿市議が総体質問 3月8日(金)午後2時頃～

「2月議会」の日程

○3月7日(木)	10:00～	総体質問(1日目)
○8日(金)	10:00～	総体質問(2日目)
○11日(月)	10:00～	予算特別委員会
○12日(火)	10:00～	予算特別委員会
○13日(水)	10:00～	予算特別委員会
○14日(木)	10:00～	予算特別委員会
		(予算委員会終了後) 議会運営委員会
○19日(火)	10:00～	議会運営委員会
	13:30～	本会議(閉会)

ぜひ傍聴にお越し下さい!!

こんな時にがけ崩れ予算が減額補正??

岡野市議は「一戸だと工場の対象にならない、少しでも工造物をしていたら工事の対象にならないというのはおかしい。その理由は何なのかを県に質したのか、改善すべきではないのか」と質問しましたが納得できる答弁は得られませんでした。